

Contents

■平成19年度予算	
これが長浜市の取り組み	2～5 P
■長浜市基本構想を策定中	6～8 P
■新年度の組織機構	9 P
■3月市議会から	10～11 P
■次世代育成推進協議会委員	
スポーツ振興計画策定委員募集	11 P
■春爛漫！長浜曳山まつり	12 P
■まちの外国人さん、ぶらりわがまち	13 P
■滋賀県議会議員選挙、市民債発行	14 P
■防災無線整備、びわ幼稚園完成	15 P
■公共下水道整備完了、緑の募金	16 P
■国民年金、固定資産税、労働保険	17 P
■パソコン講座募集、小児科救急診療	18 P
■狂犬病予防注射	19 P
■人権ってなあに、マタニティマーク	20 P
■お元気ですか(健康講座)	21 P
■インフォメーション	22～23 P
■裏表紙	九十年ぶりに曳山勢ぞろい 24 P

今月の表紙

春は、新たな出会いと旅立ちの季節。
学校や職場などでは、数多くの人たちが、
期待と決意を胸に、心を新たにします。
長浜バイオ大学でも、3月17日に卒業式が
あり、1期生274人が夢に向かって旅立ちま
した。
平成15年に開学した同大学では、今回が初
めての卒業生で、医薬品や食品、化学、情報
関連の企業のほか、国公立大や同大学の大学
院に就職、進学されるそうです。

写真は、卒業生による角帽投げで、新たな
出会いと旅立ちに対する期待と決意が込めら
れた帽子は、青空高く舞い上がっていました。

解説

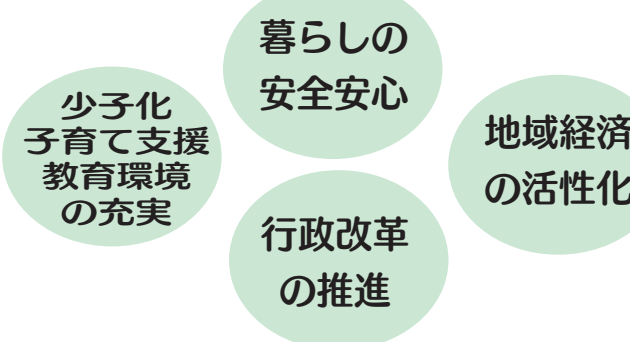
平成19年度予算

これが長浜市の取組だ！

平成19年度予算は、昨年12月に策定した「行政改革大綱」・「集中改革プラン」の確実な実施をめざし、市の借金を少なくするとともに、プライマリーバランスの黒字化など、収支バランスの一層の改善に努めました。

また、収支不足への対応としては、昨年より約7億円を改善し、財政健全化に一步踏み出すとともに、「暮らしの安全安心」「地域経済の活性化」「少子化・子育て支援・教育環境の充実」「行政改革の推進」の4つの分野において「選択と集中」による重点化を徹底し、将来にわたって「持続可能な行財政基盤」の確立と今後の基礎を着実につくる予算としました。

特に力を入れる4つの分野



行政改革の推進

予算編成の舞台裏では

平成19年度予算編成をめぐる財政環境は、税源移譲による個人市民税と景気回復基調にある法人市民税の増加が見込まれたものの、地方交付税が大きく減少することから、依然として厳しい状況となりました。

さらに、国の三位一体の改革により国の補助金等が約10億円の減、滋賀県の財政改革により県補助金が約7千万円の減、さらに単年度の収入不足額が4億円加わり、総額15億円の収支不足額が生じました。

そこで、歳入と歳出の見直しにより7億円の改善を図るとともに、借金の返済のために積み立てていた基金を8億円取り崩しました。

7億円の改善方策は

■歳出の見直し

- 人件費で（退職者の補充をしなかったので、定員37人減） ▲2億8,800万円
- 特別会計への繰出の見直しで ▲1億9,600万円
- 経費の効率的な執行で（I T機器や公用車の集中執行、消耗品などの事務経費の削減、補助金の見直しなど） ▲1億3,100万円

■歳入の見直し

- 歳入の確保（市税等の回収強化、広告料収入、県補助等の獲得、各種利用料の見直し） 3,100万円
- 基金の活用で 5,900万円

暮らしの安全安心

《子どもを犯罪の被害から守る条例の推進のために》

通学路防犯灯整備事業……………1,080万円

子どもたちが被害となる犯罪を防止し、夜間でも安心して通学路を通ることができるよう、集落間の通学路に防犯灯を設置します。



- 通学路安全対策事業……………200万円
- 地域安全マップ事業……………32万円
- 幼稚園フェンス整備事業……………340万円

《災害に強いまちをつくるために》

安全・安心の住宅改修奨励事業…1,000万円

新たに住宅耐震住宅工事および住宅バリアフリー改修工事を実施され、それらの改修に伴う固定資産税が減税される人に対し、対象工事費の10%（限度額10万円）相当を地元で使える商品券で支援します。

※実施期間は、平成19年度～平成21年度の3年間



- 耐震改修促進計画策定事業……………500万円
- 移動系防災行政無線整備事業(18年度補正予算対応)……………2億1,600万円
- 避難所標識・資機材整備事業……………600万円